

株式会社クレハ
第111回
定時株主総会



2024年6月26日

A large green triangle with a halftone dot pattern, pointing downwards, located on the left side of the page.A large green triangle with a halftone dot pattern, pointing upwards, located on the right side of the page.

開 会

すべての議案の審議に必要な定足数を満たしております。

監査報告は招集ご通知に記載のとおりです。

＞ 招集ご通知 43頁～48頁

1. 報告事項の報告

2. 議案の上程

3. 報告事項および決議事項に関する質疑応答

4. 議案の採決

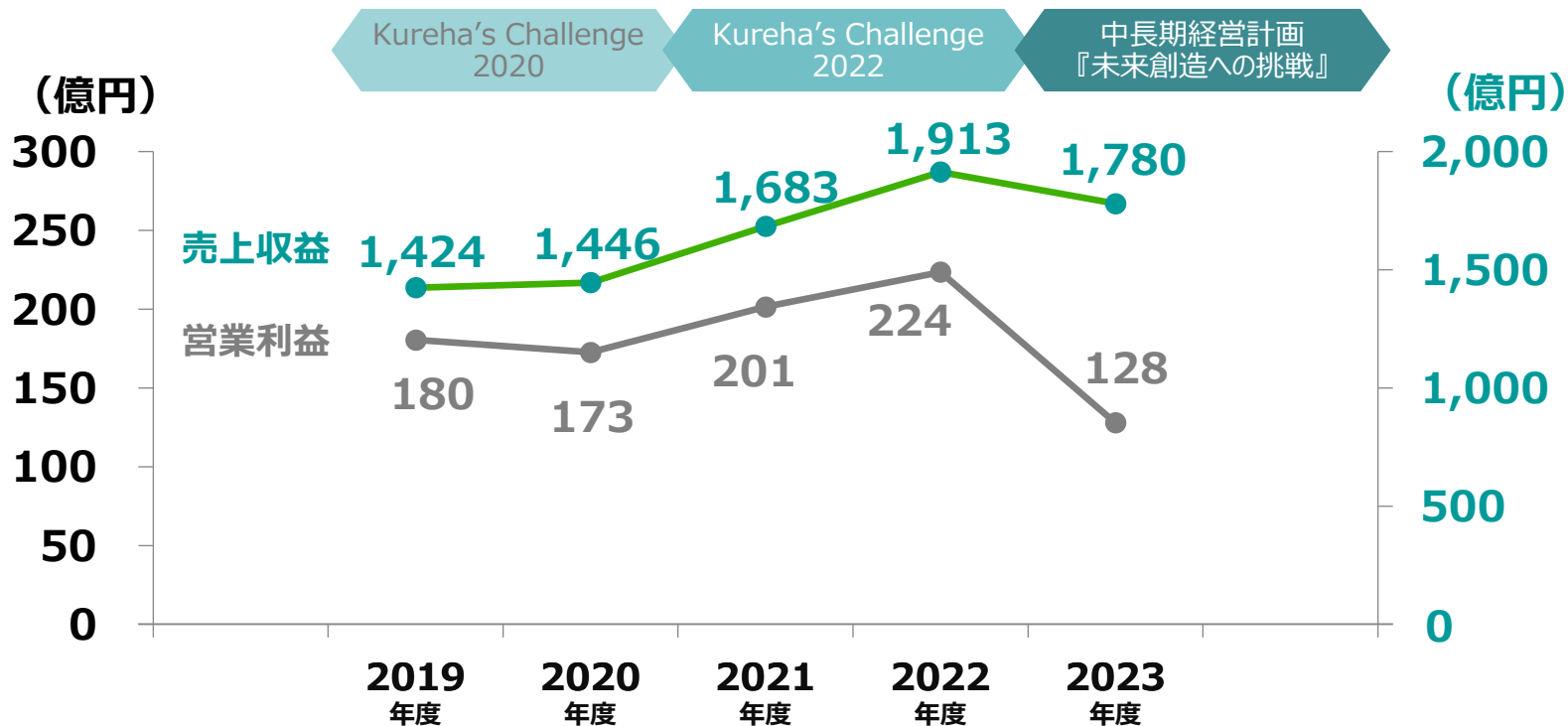
報告事項の報告

1. 第111期事業報告および
連結計算書類報告の件
2. 第111期計算書類報告の件

> 招集ご通知 5頁～42頁

> 当社ウェブサイトに掲載

連結決算推移 (2019~2023年度)

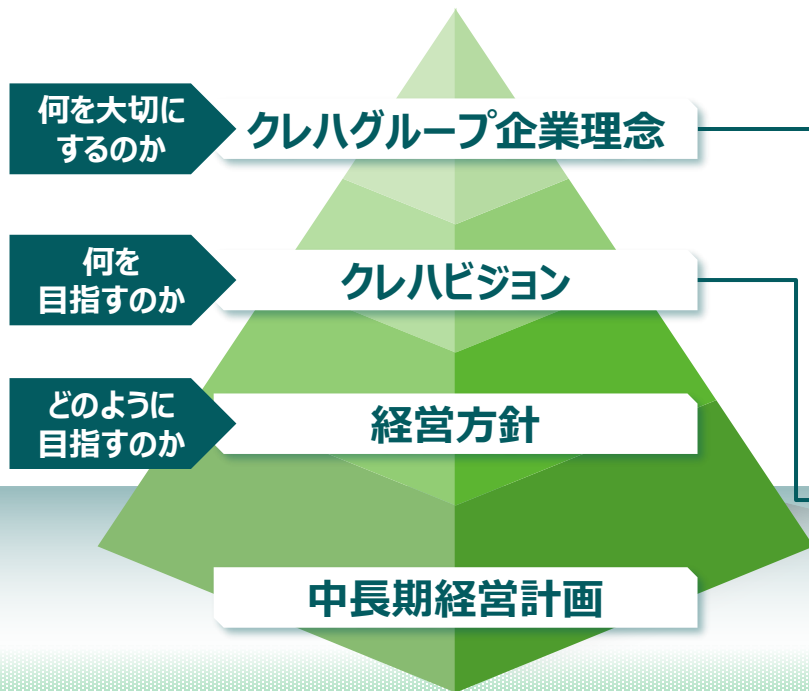


対処すべき課題

> 招集ご通知 10頁～18頁

中長期経営計画（2023～2030）

収益性向上による中長期的な企業価値の向上と
持続可能な社会への貢献を同時に実現する「サステナビリティ経営」に向けて
2023年度より中長期経営計画を実行中



私たち（クレハグループ）は、

- 人と自然を大切にします。
- 常に変革を行い成長し続けます。
- 価値ある商品・技術を創出して、持続可能な社会の発展に貢献します。

独自技術でスペシャリティを追求し、
未来を拓く社会貢献企業

サステナビリティ経営の実践



目標

継続的な
経済価値の向上

社会課題
解決への貢献

環境負荷
低減への貢献

最重要
施策

技術立社の
再興

経営基盤の
強化

会社と社員の
共生

『独自技術でスペシャリティを追求し、未来を拓く社会貢献企業』を
どのように目指すか、3つの目標と3つの最重要施策を『経営方針』として制定

2030年度のありたい姿実現に向けて



「**経済価値**」のみならず、社会課題解決への貢献が「**社会価値**」として重要度が
増していることから、業績目標と環境負荷低減目標の双方に定量目標を設定する。



「**環境・エネルギー**」、「**ライフ**」、「**情報通信**」の各分野における社会課題の解決に
貢献する商品・サービスにより収益を上げる。

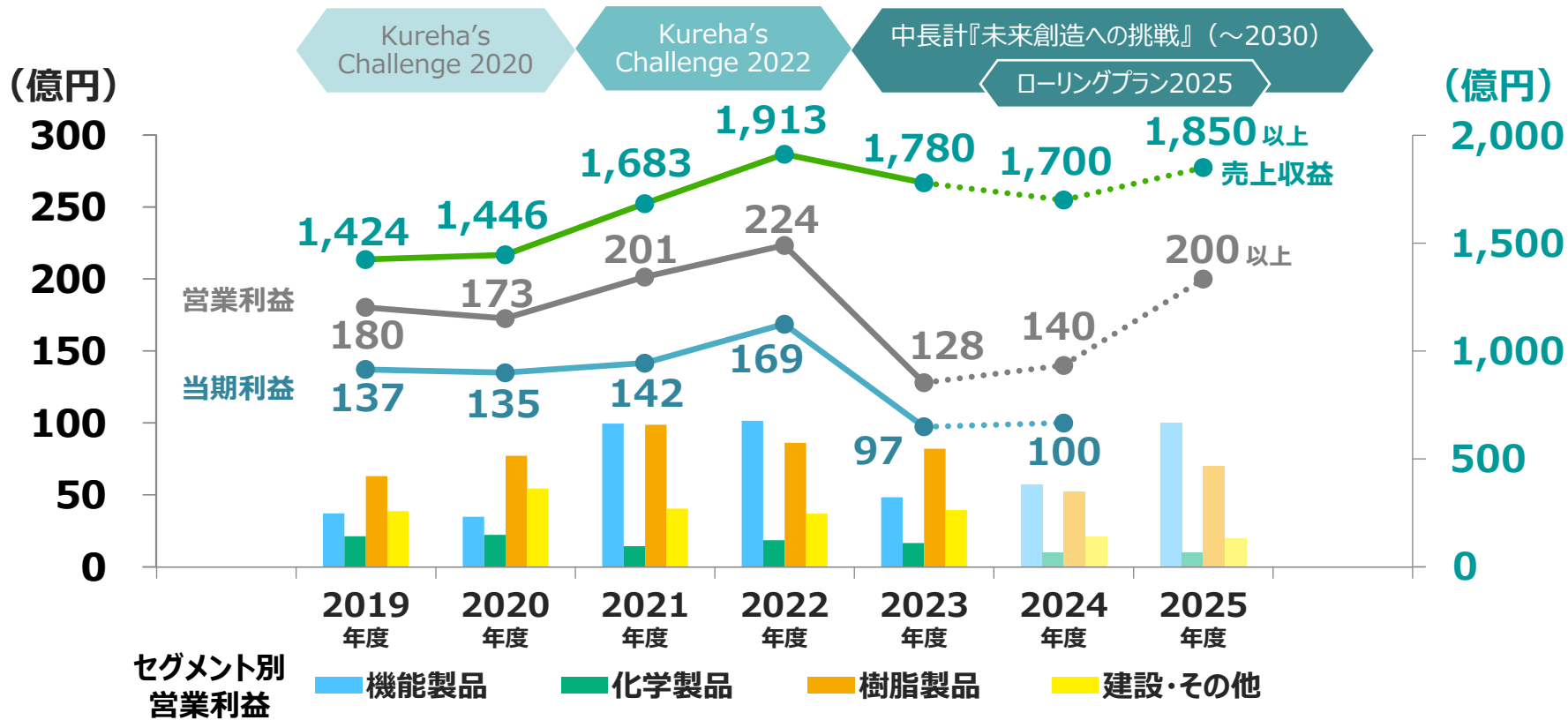


環境負荷低減については**エネルギー起源のCO₂排出量の削減**
および**廃棄物のゼロエミッション**に取り組む。



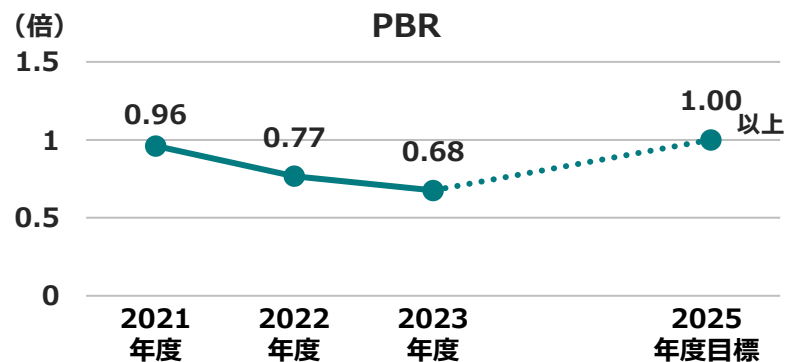
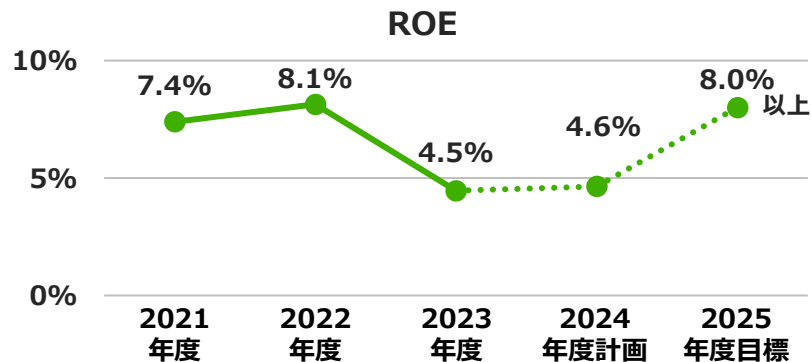
業績向上ならびに環境負荷低減の根源をなす研究・技術開発力の強化により、
技術立社の再興を図る。

『クレハグループ中長期経営計画ローリングプラン2025』



業績目標および重要業績評価指標 (KPI)

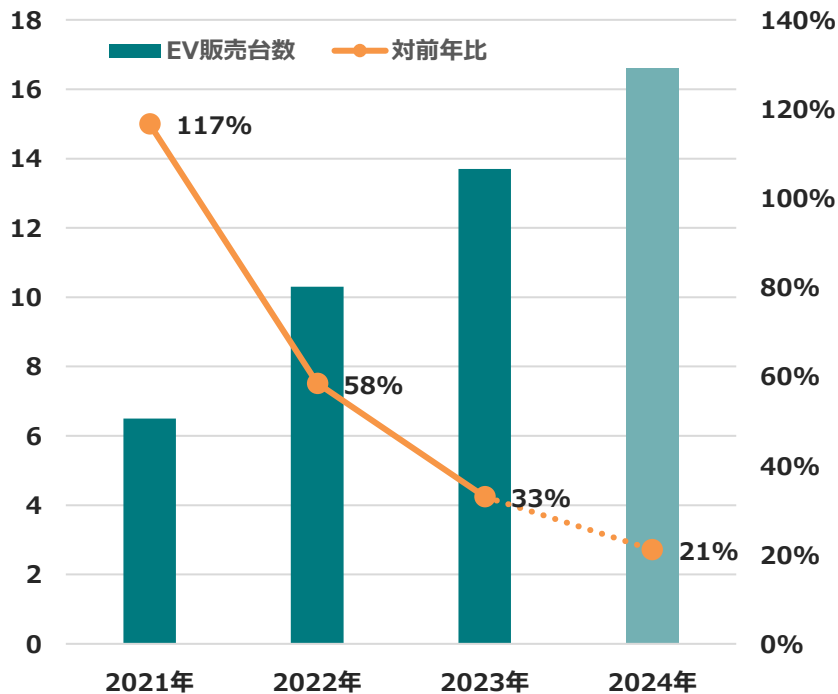
	2023年度	2024年度	ローリングプラン2025年度	2025年度 当初計画	
業績目標	売上収益	1,780億円	1,700億円	1,850億円以上	2,000億円
	営業利益	128億円	140億円	200億円以上	250億円
重要業績評価指標	ROE	4.5%	4.6%	8%以上	-
	PBR	0.7倍	-	1.0倍以上	-



	2025年度 当初計画		ローリングプラン（～2025年度）
配当	配当性向	30%以上	継続 30%以上
	年間配当下限額	(未設定)	新設 86.7円/株以上
総還元性向	総還元性向	50%以上	継続 50%以上
自己株式	取得金額（～2025年度）	200億円程度	修正 400億円程度
	消却方針	会社法178条の規定に基づいて決議	新設 会社法178条の規定に加え、株式報酬やM&A等で必要となる株式数を勘案した結果、余剰と考えられる自己株式は、その消却も併せて決議
自己資本比率	自己資本比率	60%程度	修正 50%程度
政策保有株式	数値基準	(未設定)	新設 連結純資産比 10%未満

<世界EV販売台数と伸長率>

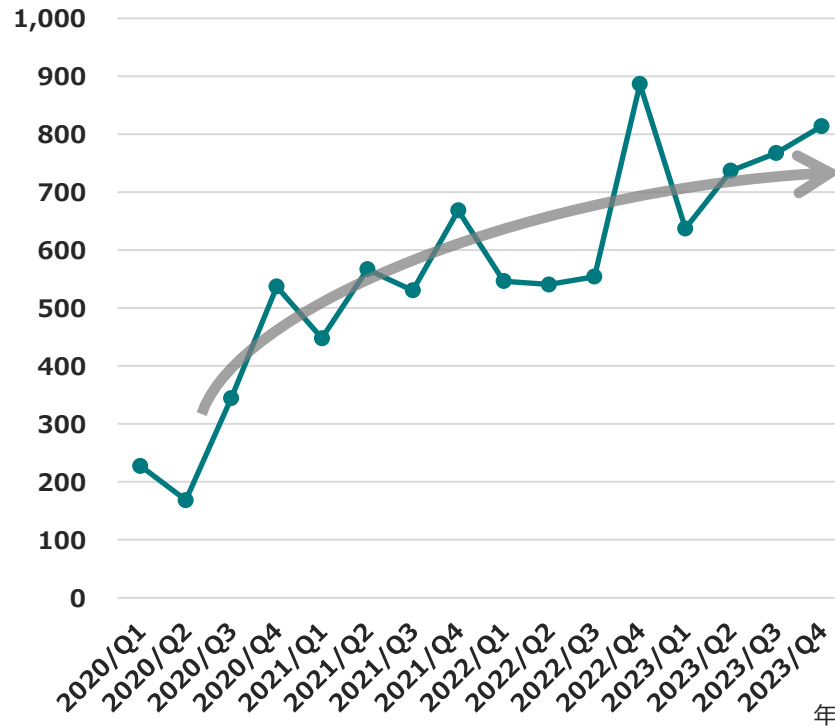
(単位：百万台)



出典:IEA. License: CC BY 4.0

<欧州のEV及びプラグインハイブリッド車販売台数推移>

(単位：千台)

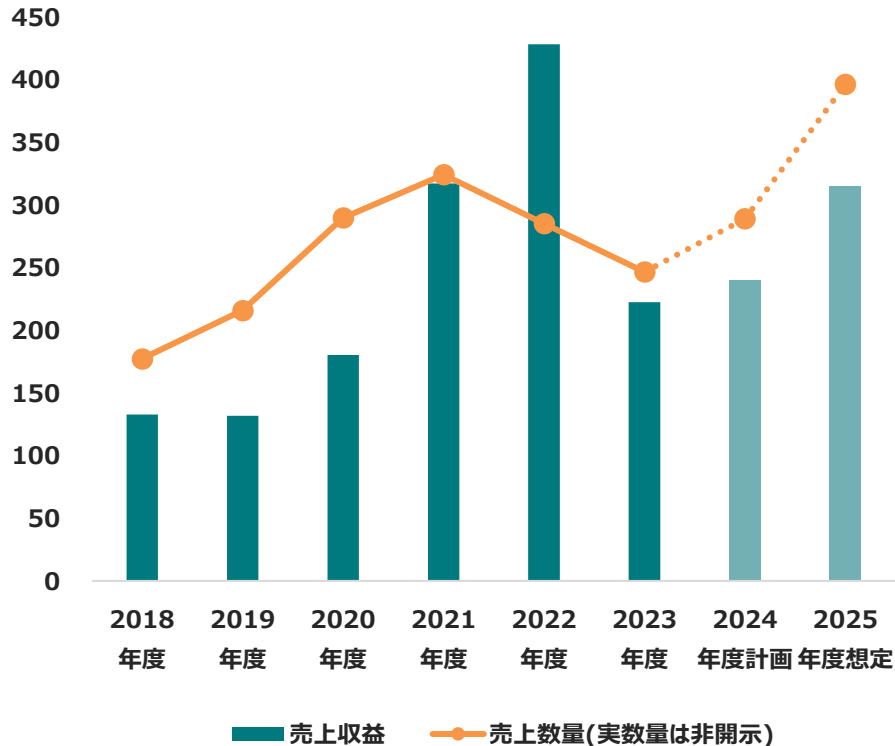


出典:MarkLines

年

<事業の推移>

(単位:億円)



<増強計画>

(単位:トン/年)

	既存設備	増強
① いわき事業所 (更なるデボトルネッキング)	6,500	+8,000 (+2,000)
② 中国	5,500	中止
③ 第三拠点	-	今後の需要 動向次第

- 2030年度までに生産能力20,000トン/年
- 20,000トン/年の設備に加え、デボトルネッキングにより能力増強の余地があり、需要が拡大した場合には対応が可能

『クレハグループ中長期経営計画ローリングプラン2025』
をスタートいたしました。

当社ビジョンである「独自技術でスペシャリティを追求し、
未来を拓く社会貢献企業」の実現に向けて、
「パッション」「スピード」「コミットメント」を掲げ取り組んでまいります。

パッション
(情熱)

スピード

コミットメント
(約束)